

宿 泊 約 款

（適用範囲）

第1条 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊約款及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令等（法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ。）又は一般に確立された習慣によるものとします。

2 当ホテルが、法令等及び習慣に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先されるものとします。

（宿泊契約の申込み）

第2条 当ホテルに宿泊契約の申込をしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出て頂きます。

- ① 宿泊者名
- ② 宿泊日及び到着予定時刻
- ③ 宿泊料金(原則として別表1の基本宿泊料による。)
- ④ その他当ホテルが必要と認める事項

2 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

（宿泊契約の成立等）

第3条 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。

3 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。

4 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

（申込金の支払いを要しないこととする特約）

第4条 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

（施設における感染防止対策への協力の求め）

第4条の2 当ホテルは、宿泊しようとする者に対し、旅館業法（昭和23年法律第138号）第4条の2第1項の規定による協力を求めることができます。

（宿泊契約締結の拒否）

第5条 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。ただし、本項は、当ホテルが、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- ① 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
- ② 満室により客室の余裕がないとき。
- ③ 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- ④ 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。
 - イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）、同条第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
- ⑤ 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- ⑥ 宿泊しようとする者が、旅館業法第4条の2第1項第2号に規定する特定感染症の患者等（以下「特定感染症の患者等」という。）であるとき。
- ⑦ 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。（宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律平成25年法律第65号。以下「障害者差別解消法」という。第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）
- ⑧ 宿泊しようとする者が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返した

とき。

- ⑨ 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。

（宿泊契約締結の拒否の説明）

第5条の2 宿泊しようとする者は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めることができます。

（宿泊客の契約解除権）

第6条 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。

- 2 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払い期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
- 3 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

（当ホテルの契約解除権）

第7条 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。ただし、本項は、当ホテルが、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- ① 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
 - ② 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
 - イ 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
 - ③ 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - ④ 宿泊客が 特定感染症の患者等であるとき。
 - ⑤ 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。（宿泊客が障害者差別解消法第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）
 - ⑥ 宿泊客が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
 - ⑦ 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊をさせることができないとき。
 - ⑧ 消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき。
- 2 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

（宿泊契約解除の説明）

第7条の2 宿泊客は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めることができます。

（宿泊の登録）

第8条 宿泊客は宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- ① 宿泊客の氏名、住所及び連絡先
 - ② 日本国内に住所を有しない外国人にあっては、国籍及び旅券番号
 - ③ その他当ホテルが必要と認める事項
- 2 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

（客室の使用時間）

第9条 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から翌朝正午までとします。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

- 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
 - ① 超過3時間までは、室料金の30%
 - ② 超過6時間までは、室料金の50%
 - ③ 超過6時間以上は、室料金の全額

(利用規則の遵守)

第 10 条 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

(営業時間)

第 11 条 当ホテルの主な施設等の営業時間は各所の掲示、客室内のインフォメーション等でご案内いたします。

- 2 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

(料金の支払い)

第 12 条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第 1 に掲げるところによります。

- 2 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の到着の際、又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
- 3 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当ホテルの責任)

第 13 条 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

- 2 当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

第 14 条 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了承を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

- 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

第 15 条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは 15 万円を限度としてその損害を賠償します。

- 2 宿泊客が、当ホテルにお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価格の明告がなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、15 万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

第 16 条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了承したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。

- 2 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡するとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め 7 日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
- 3 前 2 項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第 1 項の場合にあっては前条第 1 項の規定に、前項の場合にあっては同条第 2 項の規定に準じるものとします。

(駐車責任)

第 17 条 宿泊客が当建物の駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは宿泊客へ便宜上、その場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

(宿泊客の責任)

第 18 条 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を蒙ったときは、当該宿泊者は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

別表第 1 宿泊料金等の内訳（第 2 条第 1 項及び第 12 条第 1 項関係）

		内容
宿 泊 客 が 支 払 う べ き 総 額	宿 泊 料 金	① 基本宿泊料（室料） ② サービス料（①×15%）
		③ 飲食料及びその他の利用料金 ④ サービス料（③×15%）
	税 金	消費税
		宿泊税

備考

- 1. 室料は当ホテルが掲示する料金によります。
- 2. 税法が改正された場合は、その改正された規定によるものとします。

別表第 2 違約金（第 6 条第 2 項関係）

契約申込人数 契約解除の 通知を受けた日	個人	団体
	9名まで	10名以上
不泊	100%	100%
当日	100%	100%
前日	80%	80%
前々日から7日前まで	40%	40%
8日前から21日前まで		20%

(注)

- 1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
- 2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわりなく、1日分（初日）の違約金を收受します。
- 3. その他、当ホテルが企画する宿泊パッケージまたは、特定団体において、前述の規定とは異なる違約金を定めることがあります。

利 用 規 則

当施設では、お客様に安全かつ快適にご利用いただくため、宿泊約款第 10 条に基づき次の通り利用規則を定めておりますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

この規則をお守りいただけないときは、やむを得ずご宿泊ならびに当施設内諸施設のご利用をお断り申し上げ、かつ当施設が被った損害の負担をいただく事もございますので、特にご留意くださいますようお願い申し上げます。

1. 客室利用について

1. 客室からの避難経路図は、客室入り口のドアの内側に掲示してありますのでご確認ください。
2. ご在室中や特にご就寝の際は、必ず内鍵とドアガードをおかけください。
3. ドアをロックされたときは、ドアガードをかけたままドアを開けるか、ドアスコープでご確認ください。また、不審者の来訪に関しましては不用意に開扉なさらずにフロントにご連絡ください。
4. 当施設は全室禁煙でございます。客室内での喫煙はご遠慮ください。
5. 客室内では暖房用、炊事用などの火気及びキャンドル等の持ち込みはご遠慮ください。また、ご使用なされないでください。
6. 当施設の許可なく客室内の備品を移動したり、また客室内に造作を施し、あるいは改造する等現状を著しく変更なされないでください。
7. 当施設の外観を損なうような品物を窓にお掛けにならないでください。
8. 宿泊登録者以外のご宿泊及び客室定員を超えた人数でのご利用はお断りさせていただきます。
9. 当施設の許可なく客室を営業行為（展示会・その他）などご宿泊以外の目的にご使用なされないでください。
10. 来訪者とのご面会はロビーでお願いいたします。
11. ご予約の宿泊日数及び人数を変更なさる場合はあらかじめフロントにご相談ください。
12. 未成年者のみのご宿泊は、保護者の許可のない限りお断りさせていただきます。

2. お部屋のカードキーについて

1. 滞在中お部屋からお出かけの際は、客室のカードキーを必ずお持ちになり施錠をご確認ください。
2. ホテル内のレストラン、バー等をご署名によってご利用なさる場合はカードキーをご提示ください。
3. お部屋のカードキーは、当ホテル出発の時必ずフロントへご返却ください。

3. お支払い等について

1. お会計は、ご到着時にフロントにてお支払いください。
2. ご到着時にクレジットカードの確認をさせていただくか、お預り金を申し受けることがございますので、あらかじめご了承ください。
3. ご宿泊者以外の方から料金の支払いを受ける場合は、定められた期日までにお支払いがなければ、ご宿泊者ご本人に直接お支払いをご請求申し上げます。
4. お買い物代、タクシー代、郵便切手代、荷物送料等のお立て替えはお断りさせていただきます。
5. 個人小切手にてのお支払い及び両替は固くお断りさせていただきます。
6. 客室内のお電話をご利用の際は、施設使用料が加算されますのでご了承ください。
7. サービス料としてお勘定の 15 % を加算させていただいておりますので、お心付け等はご辞退申し上げます。

4. 貴重品、お預かり品について

1. ご滞在中の現金、その他貴重品の保管については、客室に備え付けの金庫をご利用ください。ご利用なされないで万一紛失、盗難等が発生した場合には当施設はその責任を負いかねる場合がございます。
なお、美術品、骨董品等の品物はお預かりいたしかねます。
2. 当施設内での遺失物やお預かり物などの処理は一定期間当施設が保管し、その後は遺失物法にもとづいてお取り扱いさせていただきます。

5. 当施設内では他のお客様の迷惑になる下記の物の持ち込み、または行為はご遠慮ください。

1. 動物、鳥などのペット全般。（盲導犬等は除く）
2. 火薬、揮発油、その他発火または引火性の物。
3. 悪臭を発する物。大音量を発する物。
4. 法により所持を禁じられている鉄砲、刀剣、覚醒剤の類。
5. 著しく多量のお荷物及び物品。
6. とばくや風紀をみだすような行為、大声を出したり絡んだりすること、または他のお客様の迷惑になるような言動。
7. ナイトウェア、スリッパ等で、客室外に出ること。
8. 広告、宣伝物の配布、物品の販売、勧誘など。
9. 当施設に許可なく当施設内で写真撮影をすること、及び撮影した写真を営業上の目的で使用する事。
10. 客室ドアを開放したまま使用すること。

6. 暴力団及び暴力団員並びに公共の秩序に反するおそれのある場合について

1. 「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」(平成4年3月1日施行)による指定暴力団及び指定暴力団員等の当ホテル利用はご遠慮いただきます。(ご予約後、あるいはご利用中にその事実が判明した場合には、その時点でご利用をお断りいたします。)
2. 反社会团体及び反社会団体員(暴力団及び過激行為団体など並びにその構成員)の当ホテル利用はご遠慮いただきます。(ご予約後、あるいはご利用中にその事実が判明した場合には、その時点でご利用をお断りいたします。)
3. 暴力、脅迫、恐喝、威圧的不当要求及びこれに類する行為が認められる場合、直ちに当ホテルの利用はご遠慮いただきます。又、かつて、同様な行為をされた方についてもご遠慮いただきます。
4. 当ホテルを利用する方が心身衰弱、薬品、飲酒による自己喪失など、ご自身の安全確保が困難であったり、他のお客様に危険や恐怖感、不安感を及ぼす恐れがあると認められるときは、直ちにご利用をお断りいたします。

7. その他

1. 館内の諸施設及び諸物品についてのお願い。
 - ① その目的以外の用途にご使用なさないでください。
 - ② 施設の外へ持ち出さないでください。
 - ③ 他の場所に移動したり加工したりしないでください。
2. 廊下やロビーなどに所持品を放置なさないでください。
3. 緊急事態あるいはやむを得ない事情の発生しない限り、階段、屋根、塔屋、機械室等客用部分以外の施設内にお立ち入りなさないでください。
4. 不可抗力以外の理由により建造物、備品その他の物品を損傷、汚染、あるいは紛失させた場合、相当額を弁償していただくことがあります。

以上

Terms and Conditions for Accommodation

(Scope of Application)

- Article 1. Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions.
And any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations, etc. (i.e. laws and regulations or matters based on laws and regulations. The same shall apply hereinafter.) and / or generally accepted practices.
2. In the case when the Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations, etc. and generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

(Application for Accommodation Contracts)

- Article 2. A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars;
- 1 Name of Guest(s);
 - 2 Date of accommodation and estimated time of arrival;
 - 3 Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No.1); and
 - 4 Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. In the case when the Guest requests, during his stay, extension of the accommodation beyond the date in subparagraph (2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

(Conclusion of Accommodation Contracts, etc)

- Article 3. A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply where it has been proved that the Hotel has not accepted the application.
2. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.
3. The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for the cancellation charges under Article 6 and thirdly for the reparations under Article 18 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.
4. When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is specified.

(Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit)

- Article 4. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.
2. In the case when the Hotel has not requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and / or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as that the Hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

(Cooperation in Preventive Measures against Infections at the Hotel)

- Article 4-2. The Hotel may request cooperation from a person seeking accommodations, in accordance with Article 4-2, Paragraph 1 of the Hotel Business Act (Act No. 138 of 1948).

(Refusal of Accommodation Contracts)

- Article 5. The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following cases: However, this paragraph does not mean that the Hotel may refuse to accommodate guests in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act:
1. When the application for accommodation does not conform with the provisions of those Terms and Conditions;
 2. When the Hotel is fully booked and no room is available;
 3. When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself in a manner that will contravene

- the laws or act against the public order or good morals in regard to his accommodation;
- 4. When the person seeking accommodation is deemed to be one of the following:
 - a. An organized crime group as defined in the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (hereinafter, "organized crime group"), a member (hereinafter, "organized crime group member"), associate member or affiliate of an organized crime group, or some other antisocial force
 - b. A corporation or other group whose business activities are controlled by an organized crime group or an organized crime group member
 - c. A corporation whose executives include one or more organized crime group members
- 5. When the person seeking accommodation is considered likely to cause significant annoyance to other guests.
- 6. When a person seeking accommodations is a patient, etc. with a specific infectious disease, etc. (hereinafter patient with a specific infectious disease, etc.) as stipulated in Article 4-2, Paragraph 1, Item 2 of the Hotel Business Act.
- 7. When the person seeking accommodation has made abusive demands or demands exceeding rational limits regarding accommodation. (However, this excludes cases where a person seeking accommodations requests the removal barriers pursuant to the stipulations in Article t, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2 of the Act for Eliminating Discrimination against Persons with Disabilities (Act No.65 of 2013; hereinafter the "Disability Discrimination Elimination Act")
- 8. When the person seeking accommodations repeatedly makes request to the Hotel to the point that it becomes a burden that it may seriously impede the provision of accommodation-related services to other guests, as stipulated in Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act.
- 9. When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, disfunction of the facilities and / or other unavoidable causes;

(Explanation of refusal to conclude an Accommodation Contract)

Article 5-2. Should the Hotel refuse to enter into an Accommodation Contract in accordance with the preceding clause, a person seeking accommodations may request an explanation of the reasons for refusal.

(Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest)

- Article 6. The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Hotel.
- 2. In the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No.2. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of the payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guest.
 - 3. In the case when the Guest does not appear by 8 p.m. of the accommodation date (2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified of it) without an advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

(Right to Cancel Accommodation Contracts by the Hotel)

- Article 7. The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following cases. However, this clause does not mean that the Hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act.
- 1. When the Guest is deemed liable to conduct and/or have conducted himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order and good morals in regard to his accommodation;
 - 2. When the Guest is deemed to be one of the following:
 - a. An organized crime group, an organized crime group member, an associate member or affiliate of an organized crime group, or some other antisocial force
 - b. A corporation or other group whose business activities are controlled by an organized crime group or an organized crime group member
 - c. A corporation whose executives include one or more organized crime group members
 - 3. When the Guest is considered likely to cause significant annoyance to other guests.
 - 4. When the Guest is a patient, etc. with specific infectious disease, etc.
 - 5. When the Guest has made abusive demands or demands exceeding rational limits regarding accommodation. (This excludes cases where a Guest requests the removal of barriers pursuant to stipulations in Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2 of the Disability Discrimination Elimination Act.)
 - 6. When the Guest of the Hotel repeatedly makes requests to the Hotel to the point that it becomes a burden that it may seriously impede the provision of accommodation-related services to other guests, as stipulated in Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act.
 - 7. When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and/or other causes of force majeure;
 - 8. When the Guest does not observe prohibited actions such as mischief to the firefighting facilities and other prohibitions of the Use Regulations stipulated by the Hotel (restricted to particulars deemed necessary in

order to avoid the causing of fires.)

2. In the case when the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any of the services in the future during the contractual period which he has not received.

(Explanation of Accommodation Contract cancellation)

Article 7-2. In that event that the Hotel cancels the Accommodation Contract in accordance with the preceding clause, the Guest may request an explanation of the reasons for said cancellation.

(Registration)

Article 8. The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of accommodation;

- 1 Name, address and contact information of the Guest;
 - 2 Guests who are foreign nationals and do not possess a local address in Japan should provide their nationality, passport number
 3. Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. Prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

(Occupancy Hours of Guest Rooms)

Article 9. The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 3:00 p.m. to 12:00 noon, the next day. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.

2. The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows:
 - 1 Up to 3 hours: 30% of the room charge;
 - 2 Up to 6 hours: 50% of the room charge;
 - 3 More than 6 hours: room charge in full.

(Observance of Use Regulations)

Article 10. The Guest shall observe the Use Regulation established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

(Business Hours)

Article 11. The business hours of the main facilities, etc. of the Hotel are as follows, and those of other facilities, etc. shall be notified in detail by notices displayed in each place, service directories in guest rooms and others.

2. The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable causes of the Hotel. In such a case, the Guest shall be informed by appropriate means.

(Payment of Accommodation Charges)

Article 12. The breakdown of the Accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay is as listed in the Attached Table No. 1.

2. Accommodation charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid at Front Desk at the time of the Guest's arrival or upon request by the Hotel in Japanese currency, coupons, credit cards, or other means accepted by the Hotel.
3. Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for him by the Hotel and are at his disposal.

(Liabilities of the Hotel)

Article 13. The Hotel shall compensate the Guest for the damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements.

However, the same shall not apply in case where such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable.

2. The Hotel is covered by the Hotel Liability Insurance in order to deal with unexpected fire and/or other disasters.

(Handling when unable to provide Contracted Rooms)

Article 14. The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.

2. When arrangement of other accommodation cannot be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the Hotel cannot provide accommodation due to causes for which the Hotel is not liable, the Hotel shall not compensate the Guest.

(Handling of Deposited Articles)

Article 15. The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused to the goods, cash or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to causes of force majeure.

However, when the articles checked are cash and/or valuables, the Hotel compensate for loss or damage up to 150,000 yen, unless the Guest submits a declaration of the kind and value of said cash and/or valuables.

2. The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused, through intention or negligence on the part of the Hotel, to the goods, cash or valuables which are brought into the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at the front desk.

However, for articles of which the kind and value has not been reported in advance by the Guest, the Hotel shall compensate the Guest within the limits of 150,000yen, except in case where loss or damage was caused intentionally or by gross negligence on the part of the Hotel.

(Custody of Baggage and/or Belongings of the Guest)

Article 16. When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before his arrival, the Hotel shall be liable to keep it only in the case when such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of his check-in.

2. When the baggage or belongings of the Guest is found left after his check-out, and the ownership of the article is confirmed, the Hotel shall inform the owner of the article left and ask for further instructions.

When no instruction is given to the Hotel by the owner or when the ownership is not confirmed, the Hotel shall keep the article for 7 days including the day it is found, and after this period, the Hotel shall turn it over to the nearest police station.

3. The Hotel's liability regarding the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the Preceding Article in the case of Paragraph 1, and with the provisions of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

(Liability in regard to Parking)

Article 17. The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of this building, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited to the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for the damage caused through intention or negligence on the part of the Hotel in regard to the management of the parking lot.

(Liability of the Guest)

Article 18. The Guest shall compensate the Hotel for the damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.

Attached Table No.1

The breakdown of the Accommodation Charges, etc. (Ref. Paragraph 1 of Article 2 and Paragraph 1 of Article12.)

	Contents	
Total Amount be paid by the Guest	Accommodation Charges	① Basic Accommodation Charges (Room Charge) ② Service Charge (①×15%)
	Extra Charges	③ Meals & Drinks and other Expenses ④ Service Charge (③×15%)
	Tax	Consumption Tax Accommodation Tax

Remarks of Attached Table No. 1:

- 1 The Room charge is based on the table of charges posted by the Hotel.
- 2 Those charges are subject to change to revisions of the Tax laws concerned.

Attached Table No.2

Cancellation Charge for Hotels (Ref. Paragraph 2 of Article 6)

<div> <div></div> <div></div> </div> <div> Date when Cancellation Of Contract is Notified </div>	Individual	Group
	1 to 9	10 and more
Total Amount be Paid by the Guest		
No Show	100%	100%
Accommodation Day	100%	100%
1 Day Prior to Accommodation Day	80%	80%
7 Day Prior to Accommodation Day	40%	40%
21 Day Prior to Accommodation Day		20%

Remarks:

- 1 The percentage signifies the rate of cancellation charge to the Basic Accommodation Charges.
- 2 When the number of days contracted is shortened, cancellation charge for its first day shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.
- 3 In addition, in the case of specific packages or groups, the Guest may be liable for penalties not mentioned above.

Hotel Regulations

To assure you and all our guests a secure and pleasant stay with us, we have established the following regulations governing the usage of our facilities, in accordance with Article 10 of the Japanese Ministry of Transportation's rules, a copy of which is in your guest room.

When these regulations and policies are not observed, we may be obliged to refuse permission for continued occupancy of guest rooms or usage of other facilities.

Kindly note guests may also be held liable for damages caused to the Hotel by non-observance of these regulations.

1. For Your Safety and Security

1. Please be sure to review the emergency exit instructions posted on the inside of your guestroom door upon your arrival.
2. While in your room, do lock the room door, and be sure to use the door latch.
3. Be sure to identify any callers through the door scope and keep the door latch on when opening the door. Please do not admit unknown visitors into your room, and when in doubt, immediately contact the Front Desk.
4. No smoking is allowed inside the rooms. Please refrain from smoking in your room.
5. Please refrain from bringing heating appliances, cooking utensils, candles, etc. into the room or using them in the room.
6. Please use all Hotels equipment of fixtures only at their provided spots, and only for the purposes designated for each. Please do not change the arrangement of the room to any guest extent without prior approval of the Management.
7. Attaching items to the windows that may spoil the outside appearance of this facility is not permitted.
8. Please refrain from accommodating individuals other than the registered guests and exceeding the maximum room occupancy.
9. Please refrain from using your room for business activities or for purposes other than to live in, without prior approval of the Hotel.
10. Please refrain from allowing individuals other than hotel guests into your room. Please conduct such meetings in the lobby.
11. To change the status of your reservations, please inquire in advance with the Front Desk.
12. Minors are not permitted to stay at the Hotel without parental or guardian consents.

2. Regarding Your Room Card Key

1. Please remember to carry your card key with you any time you leave your room. All room doors lock automatically and cannot be opened without the key.
2. When signing for bills at the restaurants, bar, or other facilities, please show your room card key.
3. Please be sure to return your room card key to the Front Desk upon checking out.

3. Regarding Payment for Services

1. Please pay for your room at the Front Desk as your check in.
2. Confirmation of your credit card and advance deposits may be requested in certain instances upon arrival.
3. If your hotel bill is to be paid by a non-staying person, and that payment is not settled by the specified date, the staying guest will be required to make that payment.
4. The Hotel will not make payment on behalf of guests for expenses such as train tickets, theater tickets, taxi fares, postage, packing charges or retail merchandise.
5. The Hotel and facility personnel are not permitted to cash or accept personal checks.
6. A service charge is levied for each outgoing call made from your guestroom.
7. Individual tipping is not accepted in lieu of the standard 15% service charge added to your bills in addition to government taxes.

4. Regarding Unclaimed Articles and Valuables

1. Please avail yourself of the complimentary safe-deposit box in your room for storing your cash, jewelry, or other valuables. The Hotel will not be responsible for the loss of any cash or valuables that are not checked. We are unable to accept works of art or valuable antiques for storage.
2. Articles left behind in the building will be kept in the Hotel for a certain period. After that, the Hotel shall handle them according to the Lost Goods Act.

5. Please Do Not Bring into The Hotel Anything Likely to Cause Annoyance to Other Guests of The Hotel, Such as The Items Listed below:

1. Dogs, cats, birds and other animals or pets (Seeing eye and assistance dogs permitted);

2. Gunpowder, volatile oils or other explosives or inflammables;
3. Objects emitting a foul odor or loud noises;
4. Unregistered Firearms, swords, drugs, or other articles the possession of which is prohibited by the laws of Japan.
5. Bringing in objects of an unusually large size or quantity.
6. Engaging in gambling or behaving in an indecorous manner or committing acts likely to cause annoyance to other guests within the Hotel;
7. Wearing a nightwear or slippers outside of your room;
8. Distributing advertising or publicity materials or selling commodities within the Hotel, without the prior approval of the Management;
9. Taking Photographs, films or video tapes for business purposes, without the prior approval of the Hotel;
10. Leaving the guestroom door open while staying with us.

6. Concerning Members of Organized Crime or Conduct Disruptive to Social Order

1. This Hotel reserves the right to prohibit the use of its facilities by any group or individual designed as being affiliated with organized crime, in accordance with Japan laws for the prevention of organized criminal activities, enacted March 1, 1992. Parties found liable to this law will be refused use of these premises at all times. (This condition will be applied immediately, even after reservation or while staying with this Hotel, should such a fact be made known to Management.)
2. The above condition applies likewise to other anti-social groups, such as violent gangs, radical groups, and their members. (This condition will be applied immediately even after reservation, or while staying with this Hotel, should such a fact be made known on Management.)
3. If any act of violence, threat, intimidation, or unjust demand should occur, offenders shall be refused use of this Hotel for the immediate period, as well as the future.
4. Individuals, when found by Management to be unable to control themselves because they are not of sound mind, or under strong influence of drugs/ alcohol, or they may arouse possible danger, sense of fear, or discomfort to other guests, will immediately be refused use of this Hotel.

7. Your Cooperation is Requested

1. Rules regarding equipment and fixtures on the premises are as follows:
 - ①Please refrain from using equipment and fixtures for purposes other than those intended;
 - ②Please do not take equipment and fixtures out of the Hotel;
 - ③Please do not remove or alter any equipment or fixtures of the Hotel.
2. Personal belongings may not be left in the Lobby or passageways of the Hotel.
3. Except in emergency situations or in unavoidable circumstances, please refrain from using the emergency staircases, going up to the roof, entering areas where there is machinery, areas where Hotel property are stored or other areas where guests and visitors are not permitted.
4. The management reserves the right to hold guests responsible for damage, contamination or loss caused to any part of the building, it's furniture or fixtures, except in the case when this has occurred due to causes of force majeure.